



被爆しても  
ピアノの音色は  
変わらなかつたのです

佐野史郎 | 武藤十夢 (AKB48) | 森口瑠子 | 宮川一朗太 | 南壽あさ子 監督・脚本: 五藤利弘 ©2020映画「被爆ピアノ」製作委員会

## 12月12日(土) ウッドワンさくらぴあ 大ホール

① 10:30 ② 14:30 【各回完全入替制】

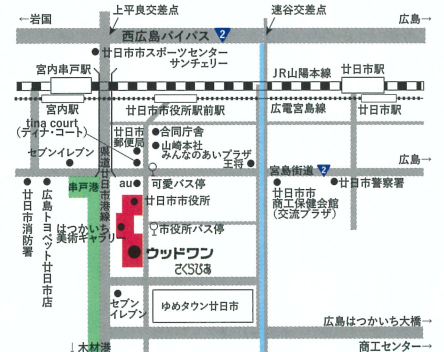
全席自由(税込)  
※上映時間指定

上映時間: 1時間53分 ※開場は、各上映時間の45分前

チケット発売日  
会員・一般 11月1日(日)

おとな 1,200円 [当日1,500円] 小中高 800円 [当日1,000円]

※未就学児のご入場はご遠慮ください。  
※さくらぴあ倶楽部会員100円引き(ウッドワンさくらぴあ事務室のみの取扱い、2枚まで適用)  
※ポイント対象外。ウッドワンさくらぴあオンラインチケットでの取り扱いはありません。  
※入場は収容定員(1,091席)の半分までとさせていただきます。  
※新型コロナウイルス感染予防の為、入場に時間がかかる場合があります。



[プレイガイド] ウッドワンさくらぴあ事務室(電話購入可 ☎0829-20-0111)

RCCオンラインチケット(ファミリーマート店内Famiポートでも直接購入いただけます。)

[お問合せ] ウッドワンさくらぴあ事務室 ☎0829-20-0111 (9:00~19:00 休館日:月曜日 ※祝日の場合は翌平日)



# おかあさんの被爆ピアノ



## Introduction

昭和20年8月6日8時15分…

広島に投下された一発の原子爆弾。  
街と共に一瞬にして消えたたくさんの命。

そうした壊滅的な状況の中で  
奇跡的に焼け残ったピアノ。被爆ピアノ…

それを託された広島の調律師・矢川光則さんは、  
修理・調律、自ら4トトラックを運転して  
全国に被爆ピアノの音色を届けて回ることに。

「70年経って被爆体験者は段々いなくなって、  
あと10年したら殆どいなくなる。けれど、被爆ピアノ  
は、その音色でずっと原爆のことを伝えていくこと  
が出来る」と矢川さん。

被爆から75年を迎える今、  
ピアノの音色で被爆の記憶を伝えていきます。



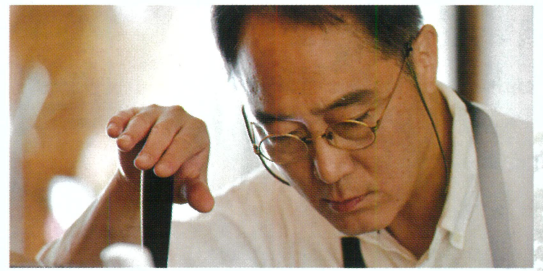
「世代を超えて伝えられるメッセージと調べ。

忘れてはいけない大切な想い。

沢山の若者たちに観てもらいたい、  
心が優しくそして強くなる映画だ。」

プロスキーヤー  
クラーク記念国際高等学校 校長  
三浦雄一郎

75年目のいま、蘇った音色が私たちに語りはじめ



昭和20年8月6日に広島で被爆したピアノを持ち主から託された調律師・矢川光則(佐野史郎)。彼自身も被爆二世。

爆心地から3キロ以内で被爆したピアノは被爆ピアノと呼ばれる。

矢川は、現在数台の被爆ピアノを託され修理、調律して、それを自ら運転する4トトラックに載せて全国を回っている。

東京で生まれた江口菜々子(武藤十夢)は大学で幼児教育を学び幼稚園教師を目指しているものの将来について漠然としている。

被爆ピアノの一台を母・久美子(森口瑠子)が寄贈していたことを知った菜々子は、被爆ピアノコンサートに行き、矢川と出会う。矢川を通して被爆ピアノ、広島のことを考えるようになり、祖母のことを知るうちに自身のルーツ探しをしていく。

母・久美子はどうして広島から出て行ったのか?

祖母・千恵子が菜々子に伝えたかったことは?

調律師・矢川がなぜ被爆ピアノを伝える活動をしているのか?

菜々子はルーツを辿り、被爆ピアノの活動を辿りながら次第に何かを見つけていく…。

## Story



戦後75年目。被爆から75年。自分を含めて今社会を担っている大人たちの殆どが戦後生まれになっています。戦争を知らない僕らは平和を当たり前のように享受してきました。しかし、当たり前だと思っていた平和は当たり前ではないことをここ数年の世界情勢の不安、国内で度重なり起こる災害などから強く感じるようになりました。今更ながら平和をどうと維持しようと思っていないと平和ではなくなくなってしまうのではないかと思うようになっていました。そのためには僕らが後進の若い人たちに語り継がなくては行けないと強く思うようになりました。そのきっかけは11年前に被爆ピアノのドキュメンタリー番組をつくらせて頂いたことでした。取材をさせて頂くうちに原爆が落とされたことや平和について考えるきっかけになるような映画をつくりたいと思いました。忘れないこと、記憶し続けること、そして伝えていくこと、そうしたことを思い起こして頂くような映画になっていたら本望です。(監督 五藤利弘)



【お願い】 会場内に手指消毒のアルコールを設置しています。手指消毒、検温、連絡先のご登録にご協力ください。感染症防止対策のため、マスクの着用をお願いします。また、「咳エチケット」へのご協力をお願いします。咳や発熱(37.5℃以上)など、風邪に似た症状がある方、体調不良の方はご遠慮ください。お席は、前後左右間隔を空けてお座りいただけるよう、お席にゆとりを持っています。安心して映画をご覧いただくために、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

